

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【公表番号】特表2002-501020(P2002-501020A)

【公表日】平成14年1月15日(2002.1.15)

【出願番号】特願2000-528282(P2000-528282)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/4412	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
A 6 1 K	47/04	(2006.01)
A 6 1 K	47/26	(2006.01)
A 6 1 K	47/36	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
C 0 7 D	213/89	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/4412
A 6 1 K	9/14
A 6 1 K	47/04
A 6 1 K	47/26
A 6 1 K	47/36
A 6 1 P	17/02
C 0 7 D	213/89

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

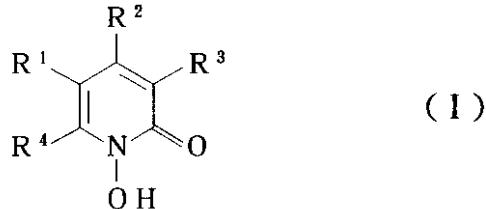
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】下腿潰瘍または褥瘡性潰瘍の治療のための医薬の製造のための、粉末および下記式I:

【化1】

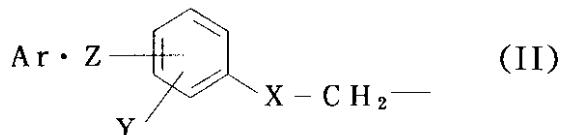


〔式中、

R^1 、 R^2 および R^3 は同じかまたは異なっていて、水素原子または炭素原子1~4個のアルキルであり、そして、

R^4 は炭素原子6~9個の飽和炭化水素基であるかまたは、下記式II:

【化2】



{ 式中、

X は S または O であり、

Y は水素原子またはハロゲン原子 2 個以下であり、

Z は単結合または 2 値の基 O、S、-CR₂-（ただし R は水素または (C₁ ~ C₄) - アルキルである）または炭素原子 2 ~ 10 個の他の 2 値の基であるもの、そして、適切には鎖型に連結した O および / または S 原子であり、ただしここで、基が 2 個以上の O および / または S 原子を含む場合は、後者は C 原子少なくとも 2 個で相互に隔てられており、そしてまた、隣接する C 原子 2 個は二重結合により連結されていて良く、そして C 原子の遊離の結合価は水素原子および / または (C₁ ~ C₄) - アルキル基で飽和されており、

Ar は環 2 個までを有し、フッ素、塩素、臭素、メトキシ、(C₁ ~ C₄) - アルキル、トリフルオロメチルおよびトリフルオロメトキシからなる群より選択される基 3 個までにより置換されていてよい芳香環系である } の基である]

の 1 - ヒドロキシ - 2 - ピリドン少なくとも 1 種の使用。

【請求項 2】 Ar がビフェニル、ジフェニルアルカンまたはジフェニルエーテルから誘導された二環系である式 I の化合物を用いる請求項 1 記載の使用。

【請求項 3】 式 I の化合物が R⁴ の位置にシクロヘキシリル基を有する請求項 1 または 2 記載の使用。

【請求項 4】 式 I の化合物が R⁴ の位置に式 - CH₂ - CH(CH₃) - CH₂ - C(CH₃)₃ - のオクチル基を有する請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の使用。

【請求項 5】 1 - ヒドロキシ - 4 - メチル - 6 - [4 - (4 - クロロフェノキシ) フェノキシメチル] - 2 - (1 H) ピリドン、1 - ヒドロキシ - 4 - メチル - 6 - シクロヘキシリル - 2 - (1 - H) - ピリドンまたは 1 - ヒドロキシ - 4 - メチル - 6 - (2 , 4 , 4 - トリメチルベンチル) - 2 - (1 H) - ピリドンを用いる請求項 1 記載の使用。

【請求項 6】 変性コーンスター、ショ糖、乳糖またはこれらの混合物を粉末基剤として使用する請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の使用。

【請求項 7】 高分散シリカを更に用いる請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の使用。

【請求項 8】 式 I の 1 - ヒドロキシ - 2 - ピリドンを 0.05 % ~ 5 % の量で使用する請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の使用。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

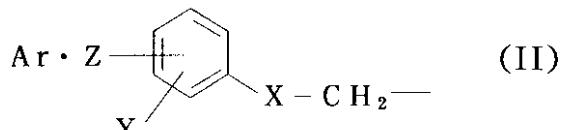
【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

R⁴ は炭素原子 6 ~ 9 個の飽和炭化水素基であるかまたは、下記式 II :

【化 4】



{ 式中、

X は S または O であり、

Y は水素原子または塩素および / または臭素のようなハロゲン原子 2 個以下であり、

Z は単結合または 2 値の基 O、S、-CR₂-（ただし R は水素または (C₁ ~ C₄) - アルキルである）または炭素原子 2 ~ 10 個の他の 2 値の基であるもの、そして、適切には鎖型に連結した O および / または S 原子であり、ただしここで、基が 2 個以上の O および / または S 原子を含む場合は、後者は C 原子少なくとも 2 個で相互に隔てられており、そしてまた、隣接する C 原子 2 個は二重結合により連結されていて良く、そして C 原子の遊離の結合価は水素原子および / または (C₁ ~ C₄) - アルキル基で飽和されており、

Ar は環 2 個までを有し、フッ素、塩素、臭素、メトキシ、(C₁ ~ C₄) - アルキル、

トリフルオロメチルおよびトリフルオロメトキシから選択される基 3 個までにより置換されていてよい芳香環系である } の基である]
の 1 - ヒドロキシ - 2 - ピリドン少なくとも 1 種の使用に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

式 I の化合物の炭化水素基 R⁴ は好ましくは C₆ ~ C₈ - アルキルまたはシクロヘキシリであり、これはメチレン基またはエチレン基を介してピリドン環に連結するか、または、エンドメチル基を有していてよい。R⁴ はまた、芳香族基であることもできるが、これは好ましくは脂肪族 C 原子少なくとも一つを介してピリドン残基に連結している。